

## 高等学校2年生 保健体育科学習指導案

### 1 単元名 「健康を支える環境づくり」 (さまざまな保健活動や社会的対策)

### 2 単元について

健康の保持増進には、個人の力だけでなく個人の取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深く関わっている。したがって、全ての人が健康に生きていくためには、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度及び地域の保健・医療機関、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加のなどについて、理解を深めるとともに、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができるようにする必要がある。

このため、本内容は、人間の生活や産業活動が自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあり、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策を取る必要があること、また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づいて行われていること、食品の安全性確保は、健康の保持増進にとって重要であり、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づいて行われていること、保健・医療制度や地域の保健・医療機関を適切に利用することが重要であり、その活用に関わる方法を学ぶとともに、医薬品は有効性や安全性が審査されており、正しく利用することが有効であること、我が国や世界では、健康課題に対応してさまざまな保健活動や社会的対策が行われていること、健康に関する環境づくりが重要であり、積極的な社会参加が人々の健康につながることを、適切な情報の活用が有効であることなどを中心として構成している。

### 3 単元の目標

<b>知識・技能</b>	健康を支える環境づくりについて、健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境、食品の保健、及び我が国の保険医療制度や機関の適切な活用の基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解することができるようにする。
<b>思考力・判断力・表現力等</b>	健康を支える環境づくりについて、社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動のなどにより、科学的に考え、判断し、それらを表現できるようにする。
<b>学びに向かう力・人間性</b>	健康を支える環境づくりについて、社会生活における健康の保持増進に関わる課題について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。

### 4 生徒の実態と指導観

学級の生徒は明るく、活発な生徒が多く授業中の発問なども多く良い雰囲気です。授業に取り組んでいる。学級内での友好関係も良好であり授業内での話し合い、グループワーク活動も積極的に行うことができる。

保健機関や社会的対策について、あまり馴染みがないことから知識がない生徒や漠然としたイメージのみを持っている生徒が多く具体的な内容について理解できていない生徒が比較的多い。そのため保健機

関や社会的対策、現在の健康課題にどのようなものがあるか正しい知識を身につけるとともにグループワーク等を通して今後どのような対策をしていくべきかを考え今後の生活に繋げていく。

## 5 単元及び学習活動に即した評価規準

健康安全への知識・技能	健康安全についての思考力・判断力・表現力等	健康・安全について、主体的に学習する態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の生活や産業活動は、自然環境をおせんし健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策を取る必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</li> <li>・食品の安全性を確保することは健康を保持する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。</li> <li>・生涯を通じて健康を保持増進するには、保険・医療制度や地域の保健所、健康センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。</li> <li>・我が国や世界では、観光課題に対応して様々な保険活動や社会的対策などが行われていることを理解している。</li> <li>・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要でありそれに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が非常に重要であることを理解している。</li> </ul>	<p>健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する喘息や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

## 6 指導と評価の計画

時間	主な学習内容	知識	思・判・表	学び
1	大気汚染と健康 ・大気汚染の原因 ・大気汚染の健康への影響 ・酸性雨 ・オゾン層の破壊			
2	水質汚濁、土壌汚染と健康 ・産業排水による水質汚濁 ・生活排水による土壌汚染 ・今日の土壌汚染			
3	環境と健康に関わる対策 ・産業廃棄物の健康影響 ・産業廃棄物の処理と課題			
4	ごみの処理と上水道の整備 ・ごみの処理の実際 ・ごみの処理の課題と対策 ・上下水道の整備 ・安全で良質な水を確保するための課題と対策			
5	食品の安全性 ・食中毒 ・食品添加物、輸入食品 ・食物アレルギー			
6	食品衛生に関わる活動 ・法律に基づく行政の役割 ・製造者による衛生管理 ・食品情報の活用 ・消費者の役割			
7	保健サービスとその活用 ・保健行政とは ・保健行政の活動 ・保健サービスの内容 ・健康情報の活用			
8	医療サービスとその活用 ・医療の供給 ・医療保険の仕組み ・かかりつけ医 ・医療サービスの活用			
9	医薬品の制度とその活用 ・医薬品の種類 ・医薬品の使用法 ・医薬品の副作用と薬害 ・安全性の確保を目指したさまざまな対策			
10	さまざまな保健活動や社会的対策 ・国際機関の保健活動 ・民間機関の保健活動 ・自治体や行政機関による社会的対策		○	
11	健康に関する環境づくりと社会参加			



	<p>るよう指示をする。</p> <p>○p124 資料 1「WHO による保健活動」を見るよう指示をする。</p> <p>○災害医療を例に WHO の活動を説明するとともに、ヘルスプロモーションの理念が環境づくりにどのような影響を与えているのか説明する。</p> <p>○UNICEF は開発途上国の子供に向けた支援を行なっている機関であることを伝え、子供達の健康と栄養面や衛生面を支援していることを伝える。</p> <p>○募金活動も行っていて、それがどのように活用されているか伝える。</p> <p>○UNICEF の親善大使が黒柳徹子さんであることを伝える。</p> <p>○黒柳徹子さんが親善大使になった経緯（緒方貞子さん）と、現在黒柳徹子さんがどのような活動を行なっているのか募金活動や開発途上国へ訪問していることを挙げ説明する。</p> <p>○民間の保健機関は政府では対応できない問題に対して活動していることを伝える。</p> <p>○NGO の代表例として日本赤十字社を挙げてどのような活動をしているか説明する。（献血、災害救護等）</p> <p>○他の団体の中には難民救護や医療協力など行なっている団体もあることを伝える。</p> <p>○健康増進やスポーツ振興、環境保全、災害支援、地域安全の活動などを行なっていることを伝える。社会貢献活動を行なっていることを伝える。</p>
<p>・ヘルスプロモーションがどのように保健活動に影響しているのかを知る。</p> <p>3. 【UNICEF について知る】</p> <p>・UNICEF がどのような機関でどのような活動をしているのか知る。</p> <p>・UNICEF の親善大使が黒柳徹子さんであることを知る。</p> <p>4. 【民間期間の保険活動について知る】</p> <p>・ NGO について知る。</p> <p>・ 日本赤十字社について知る。</p> <p>・ NPO について知る。</p>	

	<p>・ NGO・NPO の違いについて知る。</p> <p>5. 【自治体や行政機関による社会的対策について知る】</p> <p>・健康課題はライフステージによって異なることを知る。</p> <p>・健康日本 21 について知る。</p> <p>・がん対策について知る</p> <p>・これらの活動は国民の理解と支えによって成り立っていることを伝える。</p> <p>6. 【国立市で行われている保健活動について知る】</p> <p>・いい日くにたちお出かけマップについて知る。</p>	<p>○NGO・NPO の違いは、NGO が国外の営利ではない活動を行なっていること、NPO は国内の営利ではない活動をする団体であることを伝える。 2 つとも大きな違いはないことも伝える。</p> <p>○資料 2 「生涯にわたる健康づくり」黒板に貼る ○生徒に発問をしながら空欄に当てはまるものを引き出し書き出す。 ○現在の生徒らの年代の健康課題を説明する。</p> <p>○日本の健康課題の対策として健康日本 21 があることを伝える。 ○国民全員が長く生きていくための基盤としており、健康日本 21 が 2000 年から行われていることを伝える。 ○2024 年から健康日本 21 第 3 次が開始されたことを伝える。 ○誰一人取り残さない健康づくりや健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目標に、個人の健康状態の改善や社会環境の向上などが目標として挙げられていることを伝える。</p> <p>○日本人の 2 人に 1 人ががんになっていて 4 人に 1 人に一人ががんで亡くなっていることを伝える。 ○現在日本で行われている癌対策についてがん検診などがあることを伝える。</p> <p>○様々な保健活動は各国政府の拠出金や、個人、企業などからの寄付によって支えられ活動できているということを伝える。</p> <p>○いい日くにたちマップを通して健康長寿や生活習慣病の予防と、国立市の魅力を知ってもらうことを主な目的として行なっていることを伝える。</p>
--	--	---

		○資料3「いい日くにたちお出かけマップ」を2部生徒が回しながら見られるように配る。
	発問3：保健活動を考えてみよう	
	<p>7.【保健活動を考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで考える</li> <li>・発表</li> </ul>	<p>○グループで一つ保健活動を考えるように伝える。</p> <p>○イメージがつきやすいように例をいくつか挙げる。</p> <p>◇現在の健康課題を理解するとともにその健康課題への対策を考えることができる。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>〈A 評価〉 現在の健康課題を理解するとともにその健康課題への対策を考え、それらを積極的に伝えることができる。</p> <p>〈C 評価〉 現在の健康課題を理解できていない 〈努力を要する生徒への手立て〉 身近な保健活動について関わりがある例を挙げながら 機関指導を行い個別に助言する。</p>
ま と め  6分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> <li>・挨拶</li> </ul>	<p>○本時の授業の振り返りと現在の健康課題に対する個人の対策について記入するよう伝える。</p> <p>○ワークシートを回収する。</p>

## 8 板書計画

学習課題	
<p>世界の保健活動について</p> <p>WHO                      UNICEF</p>	<p>NGO・NPO について</p> <p>NGO                      NPO</p>

<p>自治体や行政機関における社会的対策</p> <p>健康日本21                      がん対策</p>	<p>国立市の保健活動</p> <p>いい日くにたちお出かけマップ</p>
--	---------------------------------------

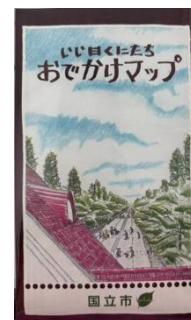
## 資料1



## 資料2



### 資料3





# 様々な保健活動や社会的対策

教科書 p124

年 組 番 名前 月 日

## 本時の目標

--

### 1 国際機関の保健活動

・(WHO)・・・世界保健機関

・(UNICEF)・・・国連児童基金

活動内容

活動内容

- ・開発途上国の子供達へ向けた医療や健康衛生面での支援。
- ・募金活動

### 2 民間機関の保健活動

・NGO・・・非政府組織

・NPO・・・非営利組織

NGO と NPO の違い

### 3 保健活動を考えてみよう

名前:

内容

### 振り返り

本時の内容で学んだことと、現在の健康課題についてどのように対策したいか書こう！

--